

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

未来創造住宅

グループの名称

未来型住宅を考える会

直近採択グループ番号

06-0426-0547

(グループ代表者)

代表者名

榎屋 博英

代表者印

代表者所属先

通商株式会社

代表者所在地

大阪府大阪市北区中之島3丁目3番23号中之島タビル

代表者電話番号

06-6448-6131

(グループ事務局)

事務局事業者名

通商株式会社

事務局担当者名

山田 弘一

印

事務局郵便番号

530-6129

事務局所在地

大阪府大阪市北区中之島3丁目3番23号中之島タビル

事務局電話番号

06-7711-6010

事務局FAX

06-6448-5618

事務局担当者E-mail

yamadak@tsusho.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		18	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		12	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	12	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		7	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		6	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
原則、対象物件着工時期順とする。									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	18	戸	交付申請戸数	11	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	11	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	棟	戸			
採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²	m ²			

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来創造住宅	(地域型住宅供給対象地域) 近畿、東海地域、岡山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 未来型住宅を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0426-0547	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	今後巨大な地震が発生する地域なので、その地震に耐えうる住宅の建築を考慮し、長期優良住宅建築において耐震等級を「等級3」の設定で建築する事を重視する。 又、年間平均気温が高い地域が多く含まれるエリアなので、外皮性能を向上させ断熱性能にも重視していく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	伝統的な木造建築の多い地域であり景観にも注意が必要である。 敷地形状に付いても特異な形状の地域もあり、従来考えられてきた採光や通風にも気を配った設計をすることを念頭に置き最適な提案が出来るように努める。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	歴史ある趣のエリア、洗練された都市型のエリア等、多様な地域に適したデザイン、景観にそった外観デザインを考慮する。	◎
④①～③の背景	温暖な地域ではあるが、対象地域には寒暖差の激しい地域も含まれる。 年間平均気温が高い地域も含まれる。「東南海地震」が発生しうる地域でもある。 その為、断熱性能や耐震性能に付いても考慮し、安全で快適な住宅を提供しなければならない。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	耐震性の強化プラス制震装置の導入を積極的に提案する。 外皮及び気密性能のUPを重視した断熱性能の確保を行う。 BELS評価による省エネ性能の見える化を推進する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 柱材の寸法を105角以上とする	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 内装建材関係においてパッケージ化した建材を使用する	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: パッケージ化した建材等を使用する事により仕様の標準化が出来る	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 流通事業者等の連携により建材・資材調達のコスト削減	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 使用する建材や資材をパッケージ化する事により事務作業においても合理化が進む	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 勉強会等と併せて意見交換会を行い、各構成員からの情報を収集し生産の合理化に付いて話し合う	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が中心となり意見交換会の開催の案内等を行い、構成員を招集する	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工におけるチェック機能の強化、チェックシートの統一を出来る限り行い施工基準の向上を図る	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 一式見積もりではなく、各工事の明細が分かる見積書の提示を推進している	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工構成員にハートシステム(エスクロータイプの完成保証制度)への取り組みを推奨している。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 週休2日制の導入を勉強会等で提案していく。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループの信頼性UPの為、お施主様が『安心』して住宅を建設出来るように、ライフプラン診断士によるライフプランの提案等と『完成保証制度』ハートシステムの提案をセットで提案していく	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来創造住宅	(地域型住宅供給対象地域) 近畿、東海地域、岡山県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 未来型住宅を考える会	(結成年) 2015 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0426-0547			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人 住宅長期支援センターの「登録住宅いえるて」に登録して行く。	○	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人 住宅長期支援センターの「登録住宅いえるて」を活用する。	○	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「登録住宅いえるて」のWEBサイト等から確認する。	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「登録住宅いえるて」の点検時期の設定により定期点検を行う	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修工事の記録を「登録住宅いえるて」に蓄積していく	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「登録住宅いえるて」のWEBサイト等から確認する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会等を実施する際に、住まいの管理に対する勉強会を行う	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会等を実施した際に、端材等を利用し見学者にDIYを体験して頂く	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「住まいの管理手帳」等を利用し、日ごろのお手入れ等を施主様に知って頂く	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員が協力しバックアップ出来るよう協議していく	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ構成員にはエスクロータイプの完成保証制度(ハートシステム)の利用を促し、出来る限り活用して頂く。 維持管理の確実な実行に必要な資金確保のために「戸建修繕積立金」の準備を住宅所有者に啓発するとともに、住宅履歴情報サービス機関のセンターが開発運営している「戸建修繕積立金サポートシステム モリトくん」を案内、推進する。		◎	
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学や勉強会を行い、技術力の向上を図ります	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者はフラット35技術基準を理解し、チェックを行う	◎	
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: フラット35検査チェックシート等を利用し確認する	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 安定した需給を行えるよう技術以外の情報も得る状況を作り、2020年以降の計画を立てる	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 継続して勉強会を行う、外部研修会等の案内を事務局から発信していく	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 31 今年度の参加目標人数 23		
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 3		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講の構成員へ参加の要請を事務局から行う	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 気密性能の向上を考え、現場発泡ウレタン断熱材の使用を推奨する	◎	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来創造住宅	(地域型住宅供給対象地域) 近畿、東海地域、岡山県															
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 未来型住宅を考える会	(結成年) 2015 年															
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0426-0547																
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																	
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																	
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄															
a	地域材利用に関する																
①	共通 ルール(必須)	紀州産材又は合法木材証明制度、PEFC木材認証制度等に対応している材を使用する。 ◎															
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上 ◎															
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> <td rowspan="4">◎</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> <td></td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> <td></td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎															
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している																
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している																
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している																
造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している																
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している																
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明																
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原木供給、製材・集成材製造・合板製造・プレカット事業者との情報共有を行い事務局で把握する ◎															
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より施工構成員等へ発信する ○															
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○															
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和のくつろぎ空間の提案を行い畳の活用を推奨している ○															
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○															
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○															
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○															
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 内装に塗り材等の調湿効果のある伝統的な材料の提案し採用している ○															
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外部に格子を取り付けるなど、地域の伝統に合った意匠を提案し採用している ○															
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 伝統的なデザインが有る地域では、地域の景観にマッチするデザインを取り入れる ◎															
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の住まい方の継承する地域の協議等には、出来る限り対応を検討する ○															
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の街並みの形成に合わせた外観の建物提案を行う ○															
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和の趣のある材料やデザインを考慮し、出来る限り採用する ○															
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。																	
カ. その他																	
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄															
東日本大震災の復興に資する取組	東北地域で生産された資材を少しでも使用する事よう構成員で協力する	○															
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本地域で生産された資材、特産品等の購入を行い少しでも復興に貢献できればと思います	○															

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 未来創造住宅	(地域型住宅供給対象地域) 近畿、東海地域、岡山県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 未来型住宅を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0426-0547	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

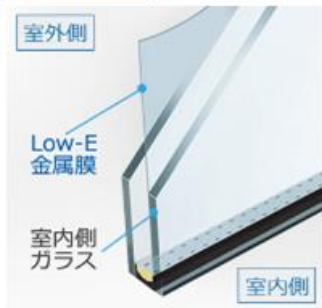
断熱性能、気密性を確保する為、現場発泡ウレタンの施工を推奨する。



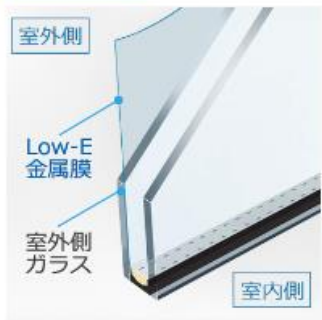
【認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅】

- ・ 当グループは建物本体の外皮性能の向上を念頭に置き、特に開口部に付いての断熱性能強化と気密向上を図り、現場発泡硬質ウレタンフォームによる断熱施工を推奨する。
- ・ 開口部のLow-eガラスにおいても、方位別に日射遮蔽型と日射取得型を使い分ける。

日射取得型



日射遮蔽型



樹脂サッシ



- ・ BELS評価の件を勉強会を通じて説明し、事務局がBELS評価の申請手続きのサポートを行いBELS評価の取得の流れをスムーズにする。